

2030年 自然と共生したライフスタイル ～あいち ろかっぴーの導入～

グループ名：ライフスタイル

メンバー：加藤秀美・小林英生・今津悠見・木村由紀子
チューター：伊東英幸・奥岡桂次郎・堀井俊宏

現状の把握

<森林・里山の現状>

・愛知県土の43%が森林で、その6割が人工林となっている。林業従事者の高齢化、減少により、間伐などの手入不足の森林や放置される里山林が増加し、崩壊の危機に瀕している。

⇒生物多様性・生態系サービスの保全が急務

<環境問題に対する人々の意識>

- ・環境問題への取組に対する肯定的回答：85%
- ・今以上に自然とのふれあいを求めている：96%

⇒意識は高くなっているが、実際の保全活動に取り組む人はまだ少ない

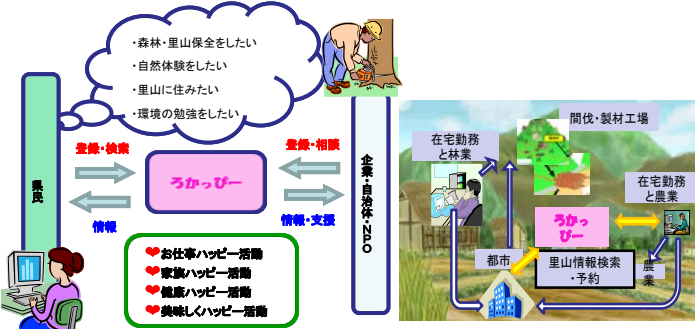
2030年に向けての提言の概要

「自然と共生したライフスタイルを送るためのシステムの構築」

県民一人一人が森林・里山の価値を認識し、それらの保全に積極的に関与することができるシステムを構築することにより、県民のライフスタイルの変化を促し、2030年の愛知県を自然の価値が見直され、自然と共生した生活が送れる社会とする為の提言

提案の内容

あいち「ろかっぴー」システムの導入



環境保全活動及びその他環境関連分野に関する様々な情報を一元的に集約し、提供する「あいち地域ハッピーセンター(愛称:ろかっぴー)」の設置を提案

提案実現のための具体的な取り組み(アクションプラン)と実現可能性

1年目を「ろかっぴー」設立期間として、(仮称)「ろかっぴー」設立プロジェクト(協議会)を行政・民間・大学協働で立ち上げ、ハッピー活動および里山保全(間伐)のモデル実験を行う。また、県民のライフスタイルの変化を促すための施策(各種インセンティブや人材活用など)について、モデル実験段階から導入を検討する。

準備期間 (1年目)	「ろかっぴー」設立プロジェクト(協議会)設立 1)システム構築 ・詳細設計および情報/バンクシステムの立ち上げ ・協力団体、ボランティア募集 2)ハッピープロジェクトをモデル実験でスタート(4テーマ) ・お仕事ハッピー・家族ハッピー・健康ハッピー・美味しくハッピー 3)里山保全(間伐)モデル地区事業企画(2年目から実施) モデル地区・間伐コスト・市場把握および森林税、付加価値税の検討 モデル事業では森林税を適用し、間伐材を全て回収し、生木はバイオマス燃料化およびバイオマスコークスの検討・試算する
第1段階 (2-4年目)	・ライフスタイル・・・第2次ハッピープロジェクト(4テーマ) ・里山保全・間伐普及・・・モデル地区で実施 ・利用者数、保全実施面積、意識調査アンケートなどのデータ収集
第2段階以降 (3年毎)	3年毎に見直して改善していく

波及効果

ろかっぴー導入による
2030年の地域ハッピー
ライフスタイル

♥ハッピーその1

都市と農山村間の交流やエコツーリズムなどの観光が活発化

♥ハッピーその2

県民が農山村資源の大切さを認識して自然の恵みに感謝し、自然との共生意識が高まることも期待される

♥ハッピーその3

自然豊かな里山での在宅勤務と林業との両立など農山村でのワーキングスタイルが多様化する

♥ハッピーその4

生態系サービスが維持され、次世代に素晴らしい自然を残すことができる